

#### IV 所見

全体として、概ね良好な結果である。また、学年が上がるにつれて、結果もよくなっている、という傾向が見られる。

7・8月の月間目標と比較してみると、服装面・頭髪面において「よくできた」とした回答数では、大きな変化は見られないものの、「できなかった」との回答数は大きく減少した。これは、これまで服装・頭髪の規定に関して、意識が低かった生徒、あるいはどちらかというと快く思っていなかった生徒の意識が芽生え、向上してきていると捉えることができる。

家事手伝いについては、さらに大きな変化が見られる。前回、7・8月の調査では、「あまりできていない」・「全くできていない」という回答がおおく見られたが、今回の調査ではゼロである。しかも、「よくできた」とする回答が2倍以上に増えている。お節料理など、家族、姉妹と一緒に作って楽しかったという意見も多く見られた。年末年始で、料理だけでなく手伝いをする機会が増える時期ではあったが、家事の一部を受け持つことは大切なことである。家族の一員であるという自覚が深まり、責任感も生まれる。これを機会に手伝いが、“手伝い”ではなく、自分の役割になるよう、習慣にしてもらいたい。

学力の向上については、まだまだ予習・復習の習慣がついていない生徒が目立った。勉強は生徒の本分であり、日頃から計画的に学習をする習慣をつけてもらいたい。



概ね良好 学年が上がることに良い

1年ができていない

「家事」よくできている

78月の月間と比べ 服装・・・できた→変化なし できなかった→大きく減少